

自転車利用実態定点調査報告

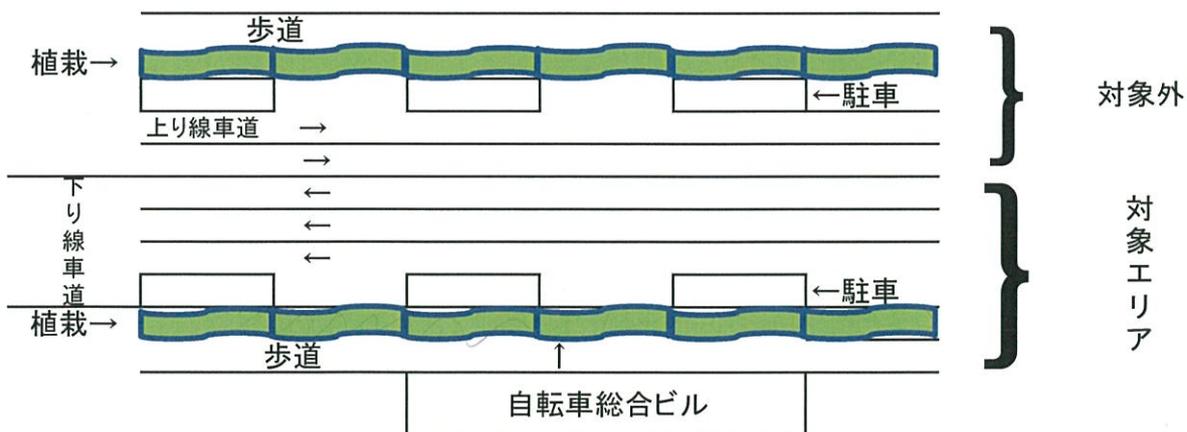
平成26年9月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成26年8月1日～28日
[午前]9:00～10:00、[午後]13:30～14:30

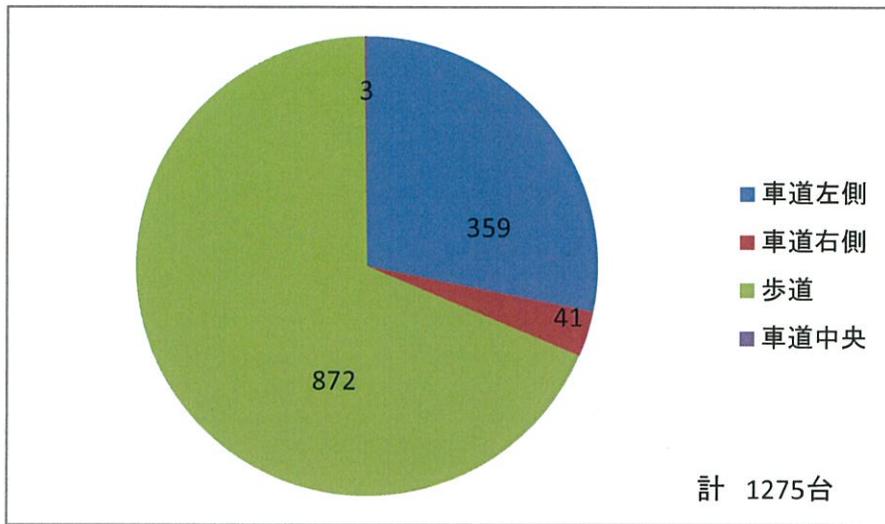
調査場所 ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に50m程緩い下り坂）
概要 ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り3車線[内側1車線駐車帯])
(歩道:幅員5m・植栽1.5m～2mのため、実質通行幅3m～3.5m)
・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り2車線[内側1車線駐車帯]及び上り歩道)



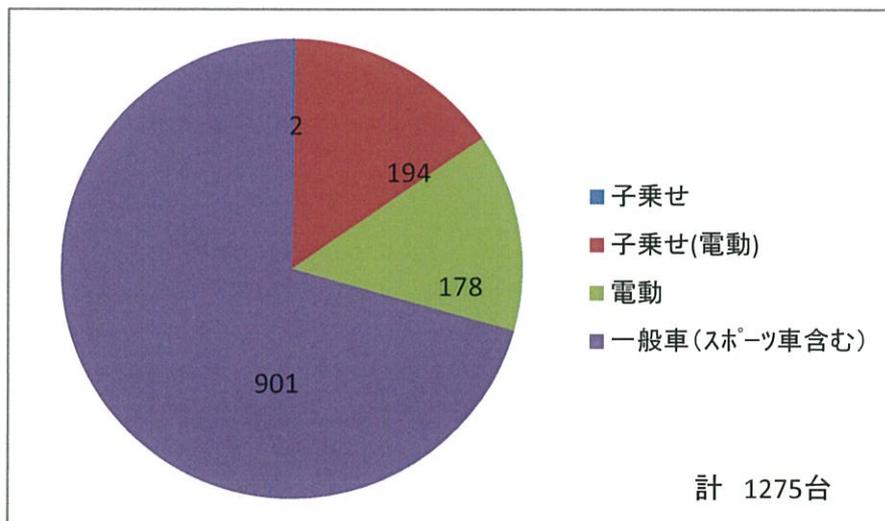
調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

- ・子乗せ自転車 今回(15.4%)に対し、前回(15.6%)と同程度
- ・電動自転車 今回(29.2%)に対し、前回(27.8%)と同程度
- ・危険運転行為 上位 3 件別では、今回の[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転]に対し、前は、[片手運転・歩道上でのスピードの出しすぎ・立ち漕ぎ]と、共通項目は、片手運転だけとなっている。
一方、下位 3 件別では、今回の[過重積載・歩道上でのスピードの出しすぎ・立ち漕ぎ]に対し、前は、[ハンドルに荷物・過重積載・携帯電話を使用しながらの運転]と共通項目は、過重積載だけとなっている。
なお、今回、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体の半数を占める形となった。
- ・その他の危険運転行為 共通項目は、ジグザグ運転・手離し運転等だが、今回、喫煙運転が発生した。

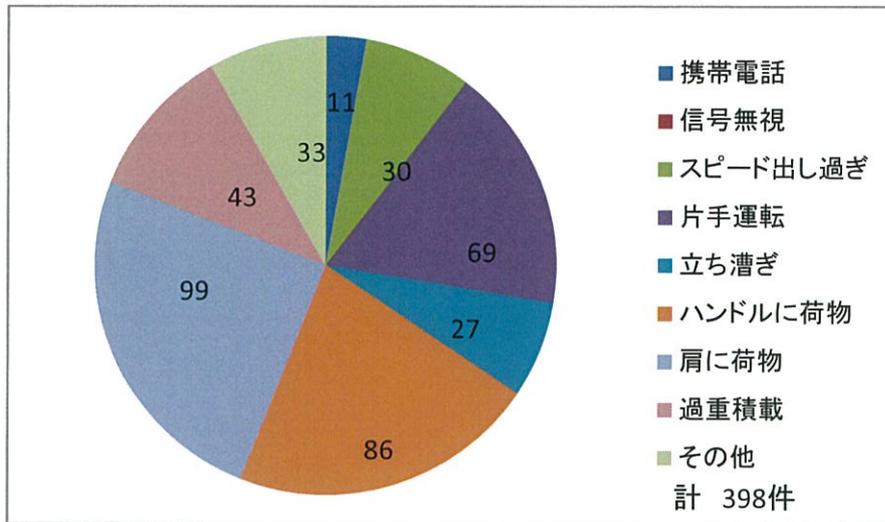
雨天時での調査は、今回 3 日間(前回 1 日間)だったが、今回も安全を考慮して、合羽着用者は、傘さし運転の倍という結果となった。



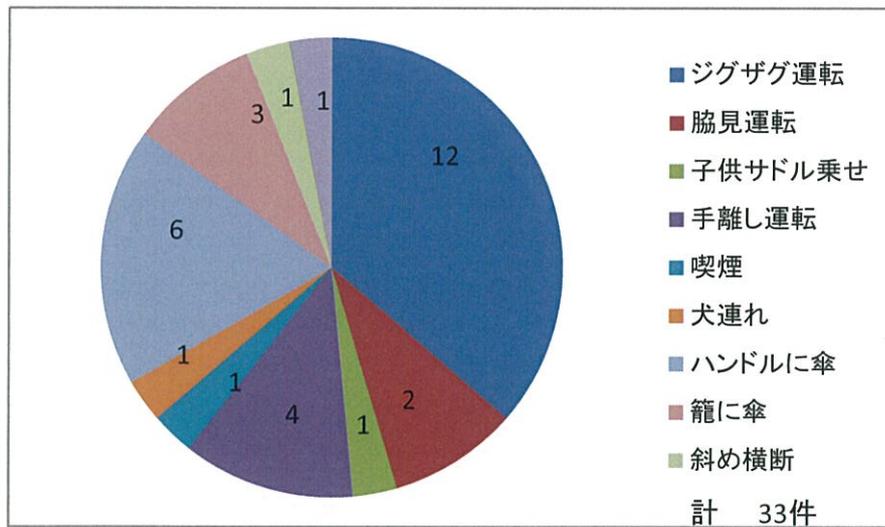
走行空間



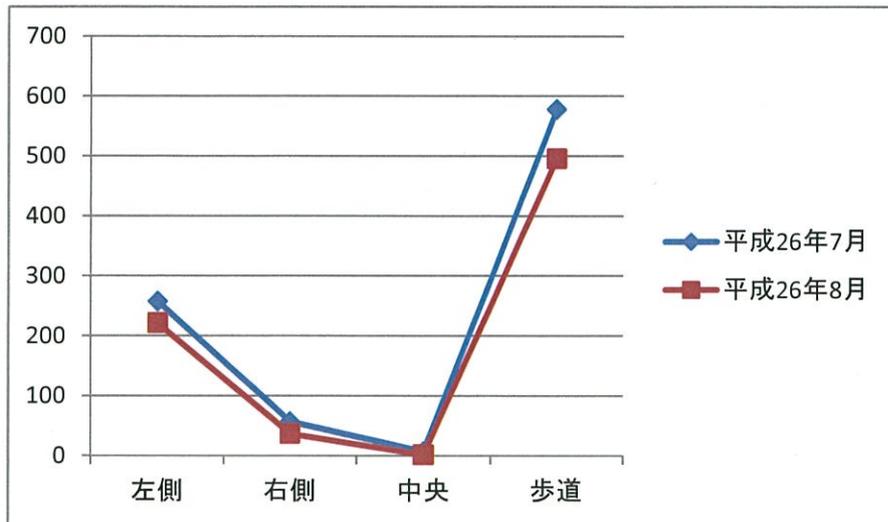
車種



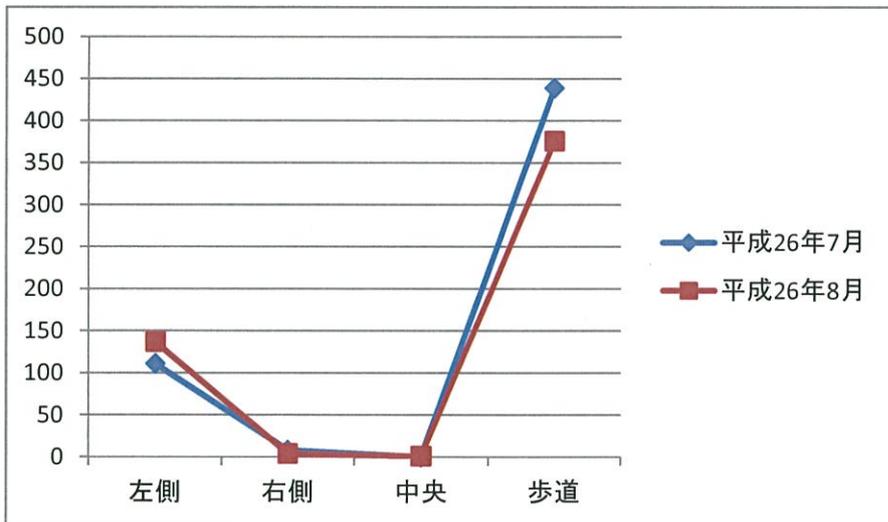
危険運転行為



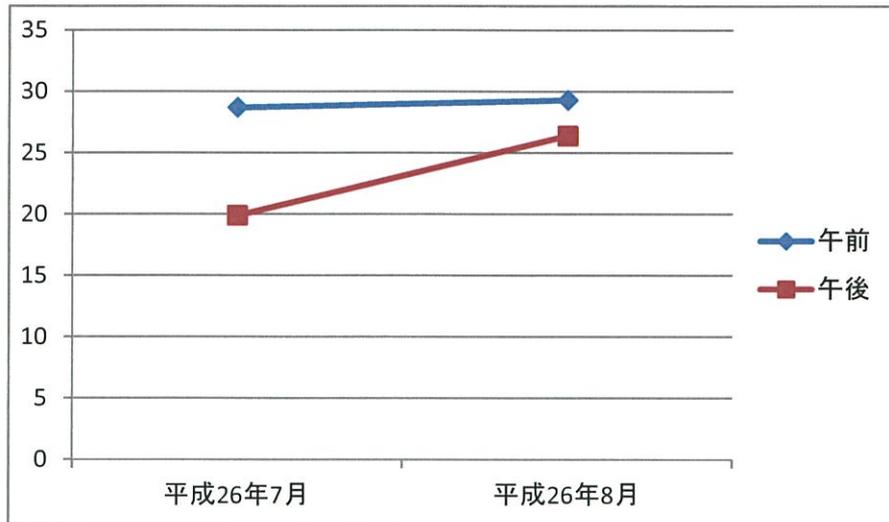
その他の危険運転行為内訳



走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)



車道走行率 (%)